

令和6年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	老人福祉センター槻寿苑、槻寿苑デイサービスセンター
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市岩槻区大字笹久保1393番地</p> <p>②施設の設置目的 【老人福祉センター】 高齢者に対して各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。 【デイサービスセンター】 老人福祉法に規定する基本理念に基づき、老人デイサービスセンターの利用者の健康で安らかな生活の維持向上に寄与し、福祉の増進を図るための施設。</p> <p>③事業内容 ・老人福祉センター ・老人デイサービス事業(定員15人)</p> <p>④施設の概要 開設年月 昭和63年5月 延床面積 1,634.55㎡ 構造 鉄筋コンクリート造平屋建 一部鉄骨造</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人さいたま市社会福祉事業団
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料(直近3か年) 令和4年度 86,377千円 令和5年度 84,230千円 令和6年度 88,145千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <p>●老人福祉センター ・利用者数 39,871人(前年度38,354人)</p> <p>●デイサービスセンター ・利用者数 844人(前年度1,421人) ・稼働率22.4%(前年度38.4%)</p> <p>◇業務実施状況</p> <p>●老人福祉センター 地域の高齢者同士の交流を促進し、介護予防や健康の増進、教養の向上と生きがいづくりの支援をした。お昼の健康体操やレク・ストレッチ体操を実施するなど、ご利用者のロコモ予防活動の充実を図った。また、健康相談では、高齢者の健康や生活全般に関する悩みや相談に応じ、高齢者の健康や生活に関するさまざまな問題についてサポートした。 世代交流盆踊り大会では、初めての試みとして、障害者施設のご利用者を招待し、盆踊りを通して交流を行った。 八潮市の道路陥没事故の下水道使用制限時には、周辺の地域の方への支援として、年齢制限することなく浴室開放を行った。</p>

		<p>●デイサービスセンター</p> <p>①介護保険利用者が安心して在宅生活を送ることができるよう、食事、入浴等のサービスを提供した。令和6年度をもって事業終了が決定したため、担当ケアマネージャーとご利用者の移行支援を行うとともに、ご家族・ご利用者の了解を得たうえで、移行先への情報提供を行い、安心して新しいサービスに移行できるように支援した。</p> <p>②維持管理業務の状況 法令に基づく建物・設備の法定点検や維持管理を計画的に実施し、水道及び灯油、清掃等の管理は、毎日記録して確認を行った。感染症対策として消毒液の設置、設備・器具等の消毒、また衛生面においても施設内の環境整備、事故防止を徹底した。</p> <p>③その他の業務 老人福祉センター施設内のデイサービスセンター・居宅介護支援事業所（自主事業）と連携し、看護師による健康相談、ケアマネージャーによる介護相談を実施した。高齢者が日常的に利用できる社会資源の情報提供を行うとともに、生活相談を行った。また、地域包括支援センターと連携し、地域の高齢者が安心して日常生活を送れるための支援体制に努めた。</p>
(6)収支状況		<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉事業収入 123千円（前年度 99千円） ・介護保険事業収入 8,284千円（前年度13,789千円） ・指定管理料 88,145千円（前年度84,230千円） ・その他 923千円（前年度 849千円） ・拠点区分間繰入金収入 25,834千円（前年度10,165千円） ・前期末支払資金残高取崩 0千円（前年度13,735千円） <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 55,715千円（前年度57,842千円） ・事務費 2,070千円（前年度 2,241千円） ・施設管理費 46,795千円（前年度45,985千円） ・事業費 8,237千円（前年度 9,160千円） ・繰入金支出 6,147千円（前年度 6,147千円） ・その他 2,075千円（前年度 1,492千円） <p>【自主事業】</p> <p>①収入10,158千円（前年度13,716千円）</p> <p>①支出12,428千円（前年度13,716千円）</p>

<p>(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応</p>	<p>●老人福祉センター 法人全体としては、さいたま市社会福祉事業団「みなさまの声」設置要項による投書箱の設置、サービス向上担当者会議による「福祉サービス利用者アンケート」の実施等によりご利用者からのご意見・ご要望を受け付ける機会を設けた。 施設としては、利用者懇談会を実施し、ご提案内容や利用者アンケートの内容についての回答を行った。各行事終了後はアンケートを行い、ご意見・ご要望については、次年度の各行事の実行委員会で検討し実施につなげた。ご要望としては、槻寿苑南部のバスルートについて改善のご要望があり、現在停車している場所の再確認と、新しい停留所について検討している。 また、グラウンドゴルフ場中央の石畳がプレーに影響するので撤去してほしいとのご要望については、さいたま市と協議の上、対応した。</p>
<p>(8)その他</p>	<p>●デイサービスセンター 法人全体としては、さいたま市社会福祉事業団「みなさまの声」設置要項による投書箱の設置、サービス向上担当者会議による「福祉サービス利用者アンケート」の実施等により利用者からのご意見・ご要望を受け付ける機会を設けた。 施設としては、利用時や送迎時および担当者会議にてご利用者・ご家族の声に耳を傾け、意見・要望等についてはミーティングで検討し、対応・改善に努めた。 また年1回開催しているご利用者・ご家族および地域の方々、関係機関が参加する運営推進会議においては、当施設で提供しているサービス内容や運営状況について、質問やご意見をいただき、口頭にて説明・回答するとともに、開催後は会議録を作成し公表した。 令和6年度をもって事業終了となる事業運営に関する説明会を2回実施し、ご利用者、ご家族のご意見・ご要望等に説明・回答するとともに、サービスの移行支援を行った。</p>

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
<p>介護予防の促進・健康づくりの促進</p>	<p>●老人福祉センター ①デイサービスセンター看護師による健康相談を月2回実施した。また、居宅介護支援事業所(自主事業)ケアマネージャーによる介護相談を月1回実施するとともに、随時相談を受け入れた。 ②ロコモ予防や健康促進活動として、転倒予防教室やレク・ストレッチ教室、eスポーツなどを行った。 ③毎日お昼休みに健康体操を行い、気軽に無理なく、楽しみながら実施できる運動として、健康増進を支援した。 ●デイサービスセンター ①併設の老人福祉センター館内の苑内散歩や館内行事の見学、うた自慢大会にはデイサービスご利用者も参加され交流を図った。 ②午前・午後の2回、健康体操を実施。身体機能の維持・向上や、脳への刺激による認知症予防、日常生活の活性化を図った。</p>

<p>教養の向上・レクリエーション活動の支援</p>	<p>●老人福祉センター</p> <p>①感染症対策に留意し、実行委員会も含め、年間行事をすべて実施することができた。また、安心・安全な施設運営に配慮しながら、ご利用者の個別相談や団体の相談を行い、誰もが利用しやすい、活動しやすい場の提供、支援に努めた。</p> <p>②教養講座として文化教室を実施、ボランティア講師による手芸・工作などで、作品を完成させる達成感を味わいながら趣味活動を行った。</p> <p>③消防避難訓練を実施、消防署員の講話と水消火器体験にて、防火に対する知識の向上を図った。</p> <p>●デイサービスセンター</p> <p>①季節のお花や植物を取り入れた壁画作り、また季節行事やレクリエーションを行い、四季折々の変化を楽しんでいただけるよう対応した。</p> <p>②苑内散歩や苑外散歩、また、輪投げ、ボーリング、風船バレーなど、楽しみながら、機能訓練も兼ねた活動を行った。</p> <p>③クリスマスリースやあさりのキーホルダー、ビニール袋ケース作りなど、手指と脳のトレーニングになる手作業レクリエーションを行った。</p> <p>④老人福祉センター行事の見学や、大広間でのカラオケ、うた自慢大会への出場など、趣味活動に参加することで、生きがいや楽しみを感じていただいた。</p> <p>⑤高齢者創作品展に出展し、ご利用者全員で一つの作品を完成させた達成感を共有できた。</p>
<p>地域との連携</p>	<p>●老人福祉センター</p> <p>①区避難所運営委員会に参加し、避難所の運営と役割を担うとともに、地域自治会に当施設を周知し、地域連携を図った。</p> <p>②区在宅支援センターと連携し、転倒予防教室や、さいたま市が主催するすこやか運動教室を実施した。</p> <p>③未来くるワーク、老年看護学実習の受け入れを積極的に行い、地域における福祉の推進に努めた。</p> <p>④近隣の障害施設による物品販売を行い、地域の他施設とのつながり、障害者支援を行った。</p> <p>⑤区民まつりに出展し、他事業所・団体と連携を図り、施設のPRと地域の活性化に努めた。</p> <p>●デイサービスセンター</p> <p>①未来くるワーク、老年看護学実習の受け入れを積極的に行い、地域における福祉の推進に努めた。</p> <p>②年1回開催の運営推進会議では、地区社会福祉協議会・自治会・高齢介護課・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所の方々7名の参加があり、当施設で提供しているサービス内容や運営状況、地域との交流状況などを知っていただくとともに、いただいたご意見・ご提案等をふまえ、サービスの向上を図った。</p>

3 評価

(1) 指定管理者による評価

●老人福祉センター

毎月の所長会議、実務担当者会議を通じて当法人運営の他の老人福祉センターの状況報告、運営での課題や問題などを共有することで、利用者に対しての統一したサービス提供、リスクへの早期対応に努めた。また職員の育成として、防犯研修にて不審者対応を警察職員による技術的な指導を受け、『X(旧Twitter)』研修では、法人内で初めて児童センター職員を講師としてXの掲載方法を学習し、積極的な情報提供につながった。また、認知症研修では認知症サポーターである老人福祉センター職員が講師となるなど、法人内の職員のスキルを活用しながら、全職員のレベルアップにつながった。その他にも老人福祉センターと同様のサービスを提供している他法人へ出向き、利用者対応、施設の課題など共通認識、他法人の良いところを施設運営に生かす交流研修をおこなった。

今年度は、八潮市の道路陥没事故により同区内、周辺の市民の方に対しても年齢を制限することなく浴室を開放し、対象外の利用者を7日間、計115名受け入れた。また、この利用をきっかけに当施設を継続される高齢者の方も多くみられた。

当施設の事業については予定通りグラウンドゴルフ大会、演芸大会、世代交流盆踊り大会、うた自慢大会、バス旅行、クラブ発表会等を実施し、実施に関しては利用者を含めた実行委員会、実施後のアンケートをおこない、利用者ニーズを生かした行事を実施した。

利用者懇談会にてご意見があった大広間(100畳)の長期交換していなかった畳については、年度末に予定していたが入浴機器の故障・交換により来年度以降となった。(一部欠損部分の畳については、閉館する老人福祉センター東楽園の畳に入れ替えた)グラウンドゴルフ場の整備についても、さいたま市と協議のうえ改善した。

近隣の老人福祉センター東楽園の閉館に伴い、利用の移行についても積極的におこない、当施設でも今までと変わらず老人福祉センターを安心して利用できるよう対応した。

●槻寿苑デイサービスセンター

本年度末での事業終了が決定し、ご利用者、ご家族に対してはご利用施設への移行を不安なくおこなえるよう相談対応、訪問等をおこなってきた。また、当施設利用者の各居宅支援事業所についても、ご本人、ご家族の同意の上で、情報の共有、移行先での不安が解消できるよう情報提供をおこなった。

サービスについては、職員間での毎朝のミーティング、動画などを活用した研修等、常に職員の技術・知識の向上に努め、質を落とすことなくサービスを継続した。

行事においても、併設している老人福祉センターの利点を生かし、老人福祉センター主催のうた自慢大会、世代交流盆踊り大会、通常では大広間でのカラオケ参加、苑内散歩、eスポーツなど、常に要介護・要支援の状態であっても交流を通じて日常生活の意欲の向上につなげることができた。

実績に関しては、年度末に閉鎖の関係で減少傾向であったが、他事業所への移行を全利用者滞りなく行うことができた。

●共通事項

施設管理については、給湯ポンプユニット圧力タンクの交換、同機器の冷却装置修繕、浴室脱衣所エアコン冷却不良による修繕、浴槽貯湯槽温度制御装置デジタル指示調節計修繕をおこなった。すべての交換・修繕に関しても利用者への影響がないよう、休館日、早朝などで対応した。また、早期に最小限に収めるため、可能な限り職員が対応した。

また、経費の削減に関しては、利用者への影響がないことを前提に、貯湯槽・浴室ボイラー停止時間の調整、浴槽内の給水・給湯ハンドル交換により、適正な湯温、水量の使用を可能にした。

また、電気については使用量に合わせた契約プランの変更などもおこなった。庭園・グラウンドゴルフ場等の除草作業についても、職員、ボランティアの協力により環境の維持に努めた。

(2)さいたま市の評価(評価担当課:福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価 (B) ※A~D

1 項目別の評価

(1)「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

・老人福祉センターについては、利用者ニーズに対応した各種事業の実施や広報に向けたSNSへの取り組みなど、市民サービスの向上に努めている点を評価した。

・デイサービスセンターについては、事業終了に伴い、利用者や利用者家族に対して、新しい施設への転所に対する不安が軽減されるよう、丁寧な転所調整を行った点を評価した。

(2)「経費の削減」に対する評価

・こまめな消灯など、節電節水対策に努めた点を評価した。

(3)「適正な管理運営の確保」に対する評価

・必要な修繕について迅速に対応し、利用者への影響を最小限にするよう努めている点を評価した。また、八潮市の道路陥没に伴う下水道使用自粛時には、迅速な対応により対象地域の方への浴場開放を行うことができた点を評価した。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めて下さい。